【市内中学校の部 伊良子清白賞】

水中大実験

鳥羽市立鳥羽東中学校 一年

齋藤 勇太

釣りに行った
垂らした糸はピクリとも動かない
たいくつ・・・
じつとしていているのがきらいなぼくは
腹ばいになって海をのぞいた
何かくつついている
まるで磁石のようだ
網を持ってきた
その磁石をはずそうとすると
網から離れていく、
S極とN極を間違えたかな
網を裏返してみた
再び網をそーと近づけていく
今度こそ
ペロリとくちびるをなめる
そして口を一文字にして
いよいよだ
網に近づいてこい

網の先に心臓の音がひびきそうだ
ああ

網から離れていく
近づくのはやめよう

待つことにした

すると海の磁石がゆっくり近づいてくる
バチャッ

磁石が網に入った

待ち伏せ作戦大成功だ

海から出すと磁石は暴れ出した

磁石には二つのはさみがついていた。

ニヤリ

笑って二つ目の磁石を探しに行く

釣りよりも面白い

海はぼくの実験室